

報道関係者各位

2016年6月30日

**日本製スーツケース「プロテカ」が生まれる場所。**

**操業開始より45年を迎えるエースラゲージ 北海道赤平工場**

**累計生産本数<sup>※1</sup> 1,500万本 突破！**

エース株式会社（代表取締役社長：森下宏明、本社東京都渋谷区、以下エース）は、子会社であるエースラゲージ株式会社（代表取締役社長：新川晃生、本社：大阪府大阪市、以下エースラゲージ）の北海道赤平工場における累計生産本数が1,500万本（実数）に達したことを発表します。

エースラゲージの北海道赤平工場は1971年8月より本操業を開始し、本年で45年を迎えます。現在では「PROTECA（プロテカ）」を中心とする高品質な日本製スーツケースを国内で唯一、素材から組み立てまで一貫した製造をおこなっています。

北海道赤平工場は最新のテクノロジーと、職人技の見事な融合により、年間およそ15万本のハードケース、6万本のソフトケースを生産する日本最大級のラゲージ工場です。最新システムとロボットの導入の他、リサイクルできる素材の採用、徹底した品質管理を行う「エース品質管理研究所」の設立や排水管理システムの導入など、環境保全活動の拠点としての役割も担っています。1971年5月、北海道赤平市茂尻に完成。同年8月より本操業開始しました。

エースならびにエースラゲージは、スーツケースの外装シェル素材の生産から組み立てまでを一貫して行う国内で唯一の国産スーツケース製造工場という自負のもと、開発から生産技術に至るまで今後も技術革新を推進し、すべてのユーザーに満足して頂けるような魅力的かつ高品質な製品を提供することにより、旅行をはじめとする快適な移動に寄与していきたいと考えています。

1971年操業開始当時の北海道赤平工場（空撮）



操業当時のスーツケースは横型で、キャスター（車輪）もまだついていない。素材はABS樹脂。1964年の海外旅行自由化以降、スーツケースをもって新婚旅行に出るのが当時の憧れ（ステータス）だった。



現在の北海道赤平工場（組立棟）



現在、メインモデルである「プロテカ360シリーズ」は、4方向からの開閉が可能な、独創的で機能性の高いスーツケース。素材は耐久性と軽さを兼ね備えたポリカーボネートハイブリッド樹脂を採用。



※1) 1971年8月～2016年6月20日までの数値（当社調べ）

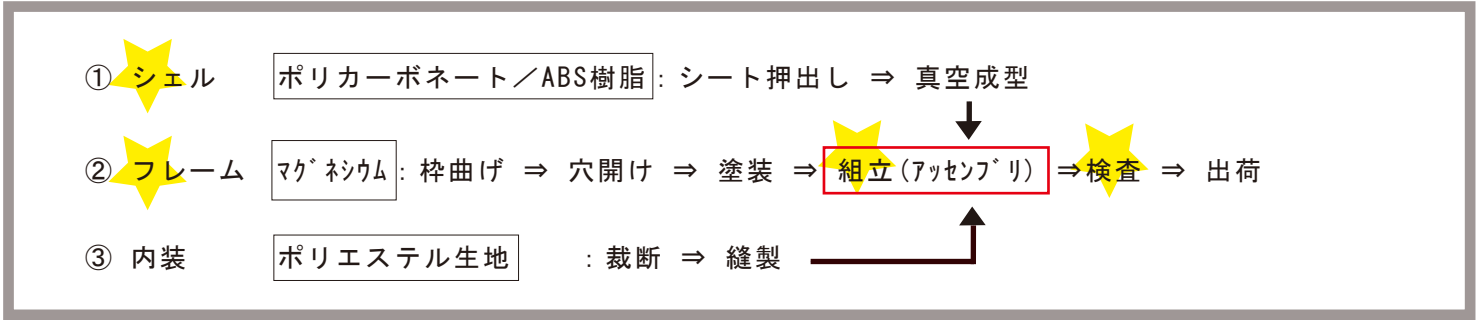
《本件に関するお問合せ》

エース株式会社 マーケティング部 山田 絢音  
 TEL: 03-5843-0607 FAX: 03-5843-0608 MAIL: a-yamada@ace.jp

《クレジット》

和文：プロテカ 欧文：PROTECA  
 読者様お問い合わせ先：エース 03-5843-0606

【スーツケースの生産工程(一例)】



シェル

**素材と技術革新の賜物！  
従来よりもさらに軽く、強固なボディを実現。**

航空機内でスーツケースが収納されるのは、気温の低いコンテナ部。そこでエースは樹脂メーカーと協力して、低温の状態での様々な衝撃に耐える特殊な樹脂を開発。プロテカに使用されているシェルは、キズが付きにくく、割れにくく、凹みにくく、その上軽量化を実現しています。

このシェルは、まず特殊樹脂を溶かしたものをシート状に押し出し、特殊樹脂と各カラー樹脂を同時に溶かし、シート状に押し出す。次に成型ですが、従来は成型するとコーナー部分が薄くなり壊れの原因になりがちでしたが、エース独自の成型技術で、どの部分も均一の厚さに仕上がりに、強度が格段に向上しました。



カラーシート



シート押し出し



真空成型

フレーム

**フレームは超軽量・超硬質のマグネシウム96%合金。  
開閉し易さ、操作性を向上！**

強固で尚且つ使い易いモノを。

プロテカでは、レーシングカーのホイールにも使われている超軽量、超硬質のマグネシウム合金を採用。特殊形状のエースオリジナルフレームをアメリカより輸入し、開閉部の噛み合わせなど操作性を左右する大切な枠曲げ工程は赤平工場で行っています。塗装では、傷が付き難いようにロボットを使用して、フレームにエポキシ樹脂を塗装。塗料がフレームにくい込むような処理を施しているため、はがれにくいのが特徴です。また枠曲げは、底ケースとふたケースとの噛み合わせも非常に重要なので、必ずセットで加工されます。



塗装

枠曲げ

組立 (アッセンブリ)

**最後の組立と検査は手作業！  
大切なのは品質へのこだわりと熟練の技。**

どんなに機械化が進んでも、最後の仕上げは人による丁寧な手作業が必要です。例えばケースの内側に貼るウレタンラミネート生地。海外製のもの糊が少なく剥がれ易いことがあります。プロテカではロボットでムラなく塗布している為、剥がれることはありません。またネジの締め方も数値管理によって最も適正な具合で留めることで、開閉のたびにゆるんだり蝶番が壊れたりすることはありません。フレームの隙間の有無、歪み等は人の手で微調整され(右下)、このような細かい点にこそ、純国産ならではの実力が現れます。



組立



妥協することなく、ラゲージの本質を追求する。

エースでは、品質の徹底的な管理と技術の向上を図るために、北海道・赤平工場にA.T.I.(ACE Technology Institute[エース品質管理研究所]の略)を設立。常にお客様に信頼される最高レベルの製品づくりを目指し、多岐にわたる品質テストを実施しています。

また、A.T.I.では品質管理テストの実施のみならず、次代の新素材や機能、パーツなどの研究を日夜続けており、高品質なプロテカ製品のベースを支えています。



### 転落テスト

重りを入れたケースを、内側に突起のある直径3.3mの巨大な6角ドラムに入れて転がす。ぶつかったり倒れたりした際の耐久性をテストします。



### 落下衝撃テスト

重りを入れたケースを120cmの高さから5回落下させ、キャスターの強度をテストします。



### ハンドル強度テスト

5000回もの上下運動で、重りを入れたケースのハンドルとロックの耐久性をテストします。



### キャスター走行テスト

重りを入れたケースを屋外で16km走行させ、キャスターの耐久性をテストします。時期によっては室内で行うこともあります。



### ボディ表面摩耗テスト

ボディ素材に摩耗テスト用の砥石を1000gの荷重で押し当て、ボディ素材を250回回転させ、表面の摩耗状態と摩耗量を検査・測定し、摩耗耐久性をテストします。

その他、「開閉テスト」(7500回の開閉を繰り返し、ロックやヒンジの耐久性をテスト)や「耐湿テスト」(気温約40度、湿度85%の状況下に500時間置くことによる品質テスト)、「温度サイクルテスト」(気温40℃、湿度85%のなかに24時間放置したあと、-20℃のなかに24時間放置。これを3回繰り返し耐熱性をテスト)など主に8項目の厳しいテストを実施しています。

## ◆◆What's Proteca?

北海道赤平工場でメインで製造する、2005年にデビューした、エースの代表的なトラベルバッグブランド。「Protect(守る)」「Technology(技術)」「ACE(エースの理念)」の造語。プロテカのハードスーツケースの全てが北海道・赤平工場の徹底した品質管理の下で製造され、「**究極の国産ラゲージ**」として市場で販売されています。

**PROTECA**<sup>®</sup>  
MADE IN JAPAN

## ◆◆商品一例

2014年、デザインオフィス「nendo」代表の佐藤オオキ氏をプロテカのクリエイティブディレクターに迎え、翌15年にブランドを刷新。新たに18シリーズ(ハードケース、ソフトケース)をデビューさせました。

### 360 スリーシックスティ

佐藤オオキ氏監修のもと、上下、左右の4方向(360度)から使用環境に合わせて開くことのできるハードケース。収納スペースを1つに集約することでデッドスペースを作らず、荷物を効率的に入れることのできる内装は、上記360度開閉する仕様とともに特許出願中の機能です。その他、内装上部にスリッパやガジェット等を収納できる立体ポケット、パイル地のあおりポケットやメッシュポケットを装備。

[7色4型、55,000円～70,000円+税、発売中]



### MAXPASS H マックスパスエイチ

機内持ち込みサイズで最大容量40リットルを実現した、**プロテカの中で最も人気の高いハードケース**。ハードタイプながら、PCや書類、ガイドブックやチケットなど細々したアイテムを収納できる前ポケットを搭載し、高い利便性を実現。[5色1型、50,000円+税、発売中]



## 業界初！！スーツケースの3年間無償保証サービス『プロテカ プレミアムケア』

エースは、カスタマーサービスのクオリティアップによる他社との差別化を図るべく、購入頂いたプロテカブランドのスーツケースを3年間無償で修理いたします(2015年1月より新商品として発売された商品が対象となります)。今まで航空会社の責任であった「機内や空港での破損、またはその他の運送中に生じた損傷を含む破損」についても無償修理の対象としました。3年の期間内であれば何度でもこの保証サービスを受けることができます。今回の保証における最大のポイントは、**今までバッグ業界では成しえなかった「航空会社の責任範囲である機内や空港での破損、またはその他の運送中に生じた損傷を含む破損」についても保証対象にした点**にあります。エースは日本製ならではの高品質性を「保証」という面から提供することで、お客様に何度でも快適に安心して旅を楽しんで頂きたいと考えております。

PREMIUM  
CARE

3  
YEAR

\*ただし、送料は片道(送り)のみお客様負担となります。

《本件に関するお問合せ》

エース株式会社 マーケティング部 山田 絢音  
TEL:03-5843-0607 FAX:03-5843-0608 MAIL:a-yamada@ace.jp

《クレジット》

和文:プロテカ 欧文:PROTECA  
読者様お問い合わせ先:エース 03-5843-0606

## エース株式会社 会社概要

社名 : エース株式会社 ACE Co.,Ltd.

創業 : 1940年1月1日

資本金 : 14億1000万円

代表者 : 代表取締役社長 森下宏明

従業員数: 1405名 (2015年12月21日現在・連結)

事業内容: 旅行バッグ、スーツケース、ビジネスバッグ、スポーツバッグ、ファッションバッグ、旅行小物などの製造卸

売上高 : 323億円(2015年度・連結)

URL : <http://www.ace.jp>

系列会社: エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、株式会社エーストレーディング、株式会社グローバルプロジェクト、Zero Halliburton Inc.、ACE ITALIA S.R.L、SINGAPORE ACE PTE.LTD.、ACE HONG KONG LUGGAGE CO.,LTD.、ACE MALAYSIA LUGGAGE SDN.BHD.

【東京本社】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE

【大阪本店】〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-2